

平成23年度

福岡市美術館活動の記録

Fukuoka Art Museum Annual Report 2011

凡例	04
美術館日誌	05
展示活動	06
特別企画展	06
公募展	12
常設展	13
常設企画展	17
展覧会関連記事	19
教育普及活動	25
こどもアートアドベンチャー	25
夏休みこども美術館	26
開館記念事業	27
福岡ミュージアムウィーク	27
博物館実習	29
職場体験学習	29
読書室企画	29
協力事業	30
ボランティア活動	30
出版物	33
調査研究活動	35
収集活動	36
美術資料	36
図書・映像資料	43
美術資料の修復・貸出	44
市民による施設の利用	48
展示室	48
講堂	54
教養講座室	55
実技講座室	56
版画印刷工房室	59
入場者数一覧	60
展覧会観覧者数	60
読書室利用者数	61
名簿	62

凡例

- 1 本冊子は福岡市美術館の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの活動の記録である。ただし、展覧会の会期がその前後に渡るものも含む。また、期日を記した部分でH.23は平成23年の略字である。
- 2 「美術館日誌」は美術館主催の主要な事業を挙げた。
- 3 主催展覧会の観覧者数の明細は「入場者数一覧」に別途記載している。展覧会の詳しい内容については印刷物として図録を刊行しているので、参照のこと。
- 4 「収集活動」の「美術資料」は平成23年度に本市が財団法人福岡市文化芸術振興財団より購入したものである。なお、データの寸法(法量)は、例えば平面作品の146.2×112.3は縦146.2、横112.3(イメージサイズ)で、立体作品の74.3×46.0×11.0は高さ74.3、幅46.0、奥行き11.0で、単位はセンチメートルである。また、所蔵品番号の番号記号の意味は下記の通りである。例えば1-A-452は郷土作家の油彩画の452番である。

1 郷土作家(注1)	A 油彩等(注2)	作品番号
2 日本作家	B 日本画等(注3)	
3 海外作家	C 水彩等(注4)	
4 黒田資料	D 素描	
5 東光院仏教美術資料	E 版画	
6 松永コレクション	F 写真	
7 太田コレクション	G 彫刻等(注5)	
9 石村コレクション	Ha~Hf 工芸(注6)	
11 森山コレクション	I 書跡	
12 三宅コレクション	J 文書	
13 山崎朝雲資料	K その他	
14 一般古美術資料		
15 研究資料		
16 西本コレクション		
17 本多コレクション		
18 クスマコレクション		
19 藤森静雄資料		
20 森田コレクション		
21 川村コレクション		

注

1. 九州および山口県、沖縄県の出身・在住作家。
2. A(油彩等)の分類には、大きさや形状から油彩画と同等と思われる作品も含む。すなわち、アクリル絵の具による絵画、複数の技法の併用による作品、レリーフ、コラージュ、布・紙・金属などの特殊な素材による作品も含む。立体の付属物があっても正面から鑑賞される壁面展示の作品、版画技法を用いていても1点制作である作品、素描であってもその大きさや表現が油彩画に匹敵するとと思われる作品もまたAに分類した。
3. B(日本画等)の分類には、伝統的な素材・技法・形状による中国や朝鮮の絵画も含む。
4. C(水彩等)の分類には、パステルなどの多色を基調とする作品も含む。
5. G(彫刻等)の分類には、オブジェ、インスタレーションなどの立体作品も含む。
6. H(工芸)は素材別に枝番号を付した。陶磁器はHa、漆工はHb、金工はHc、染織はHd、刀剣はHe、その他はHfとした。

なお、作品名の[]は、当館で作成した仮題である。

- 5 図版の*は藤本健八氏撮影のものである。

平成23年

- 4月 1日(金) 2階テラスに無料で利用できる飲食可能なスペース「いこいのテラス」をオープン
- 4月 26日(火) 美術資料寄贈者に対する感謝状贈呈式
- 5月 14日(土) 第3回ミュージアムウィーク(5月29日まで)
- 6月 30日(木) 平成23年度第1回美術館協議会
- 7月 1日(金) 夏期の開館時間延長開始(8月31日まで)
- 7月 9日(土) 「菊畑茂久馬回顧展 戦後／絵画」開催・同展開会式(8月28日まで)
- 7月 12日(火) 夏休みこども美術館2011開催(9月4日まで)
- 7月 23日(土) 中学校交流ワークショップ2011「Artでつながろう!希望の灯」(7月24日、8月6日の3日間)
- 10月 17日(月) 「地上の天宮 北京・故宮博物院展」開会式
- 10月 18日(火) 「地上の天宮 北京・故宮博物院展」開催(11月23日まで)
- 11月 3日(木) 開館記念日につき常設展観覧料無料
開館記念事業 「図録フェア」開催
- 11月 11日(金) 美術資料収集審査会(古美術)
- 12月 28日(水) 仕事納め

平成24年

- 1月 4日(水) 仕事始め
- 1月 5日(木) 「レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想」開催・同展開会式(3月4日まで)
常設企画展「朝鮮王朝時代の絵画」開催(2月19日まで)
常設企画展「第10回21世紀の作家—福岡 鈴木淳展」開催(3月25日まで)
- 2月 23日(木) 美術資料収集審査会(近現代美術)
- 3月 2日(金) 「第46回福岡市美術展」入賞・入選者発表
- 3月 13日(火) 「第46回福岡市美術展」開催(3月25日まで)
- 3月 16日(金) 平成23年度第2回美術館協議会
- 3月 18日(日) 「第46回福岡市美術展」表彰式



▲いこいのテラス



▲図録フェア

特別企画展

日独交流150周年記念
ハンブルク浮世絵コレクション展

会期：平成23年3月17日(木)―5月8日(日)

会場：特別展示室A



▲ポスター-B2



▲会場風景

内容

1877年に開館したハンブルク美術工芸博物館は、中世から現代までの美術工芸品を集めたドイツでも有数の博物館である。創立以来の浮世絵の名品を含む東アジアコレクションに、近年、故ゲルハルト・シャック氏の浮世絵コレクションが加わった。5,000点を超える同館所蔵の浮世絵の中から、大部分が初公開となる199点を展覧。浮世絵の代表的な作品に加え、校合摺、版下絵、画稿、版木といった珍しい資料を展示。

出品点数 199点

関連事業

▶ 記念講演会

「『ハンブルク浮世絵コレクション』に見る浮世絵の魅力」

日時：平成23年3月18日(金) 午後2時～4時

講師：永田生慈氏(美術評論家・葛飾北斎美術館長)

会場：講堂

聴講者数：150人

「江戸の摺物・上方の摺物」

日時：平成23年4月2日(土) 午後2時～3時40分

講師：中野三敏氏(九州大学名誉教授)

会場：講堂

聴講者数：141人

主催等

主催：福岡市美術館／ハンブルク美術工芸博物館／西日本新聞社／TVQ九州放送／日本経済新聞社

協賛：九州電力／味の明太子ふくや／福岡トヨペット
 後援：大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館／福岡県／福岡県教育委員会／(財)福岡市文化芸術振興財団／西日本リビング新聞社／cross fm／FM FUKUOKA／Love FM／天神エフエム／福岡EU協会／西日本鉄道株式会社／(社)日本自動車連盟福岡支部／(社)福岡市タクシー協会／福岡商工会議所／(社)日本旅行業協会九州支部／西日本文化サークル連合／西日本新聞TNC文化サークル

観覧料

一般・・・1,300円(1,100円)

高大生・・・800円(600円)

小中生・・・500円(300円)

※()内は前売料金および20名以上の団体、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、シルバー手帳提示者の料金

開催日数 46日

観覧者数 47,757人

印刷物

ポスター：B1、B2、B3

チラシ：A3二つ折り2種

図録：A4変形・240頁+81頁(英文)

関連記事

p. 19を参照。



▲図録

▶ワークショップ**「アダチ版画研究所による浮世絵版画の摺り実演会」**

日 時：平成23年3月27日(日) 午前10時30分、午後2時の2回

講 師：京増与志夫氏(摺師)、中山 周氏(解説)

会 場：実技講座室

定 員：各回40人

参加者数：午前31人、午後43人

▶イベント**青木千英×松田恵美対談～浮世絵&着物にまつわるエトセトラ～**

日 時：平成23年4月16日(土) 午後1時～2時30分

講 師：青木千英氏(着物愛好家)、松田恵美氏(イラストレーター)

会 場：講堂

聴講者数：95人

着物DAYS アンティーク着物で過ごす休日

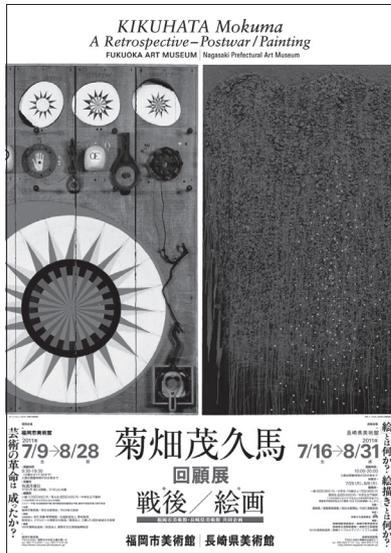
日 時：平成23年4月2日(土)、3日(日)

講 師：青木千英氏(着物愛好家)

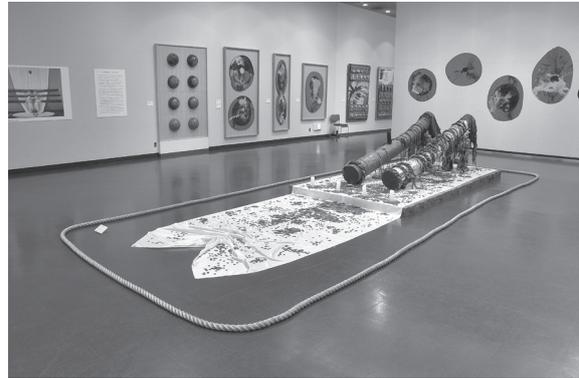
参加者数：4月2日 5人、4月3日 3人

菊畑茂久馬回顧展 戦後／絵画

会期：平成23年7月9日(土)～平成23年8月28日(日)
会場：特別展示室A



▲ポスター-B2



▲会場風景

内容

福岡市在住の画家、菊畑茂久馬(1935年長崎市生まれ)の回顧展を、長崎県美術館との共同企画展として開催した。「戦後／絵画」をテーマとし、福岡会場では「戦後」のパートを展示した。福岡で興った前衛美術運動「九州派」に属して活躍し、東京においても注目されたところの作品《奴隸系図(貨幣)》、《ルーレット》、そして沈黙の時期と言われた1970年代に制作したオブジェや版画にも注目。さらに、約20年ぶりの美術界復帰を宣言した《天動説》シリーズ16点、新作の《春風》も出品。オブジェから絵画への流れを示した。

出品点数 323点(福岡会場240点、長崎会場102点)

関連事業

▶アーティスト・トーク

「自作を語る①～九州派・反芸術・オブジェ」

日時：平成23年7月9日(土) 午後2時～4時
講師：菊畑茂久馬氏(美術家)
会場：講堂
聴講者数：136人

「自作を語る②～1970年代の沈黙から絵画への飛翔」

日時：平成23年7月18日(月・祝) 午後2時～4時
講師：菊畑茂久馬氏(美術家)
会場：講堂
聴講者数：150人

主催等

主催：福岡市美術館／西日本新聞社／RKB毎日放送
助成：(公財)花王 芸術・科学財団／(公財)野村財団／(財)アサヒビール芸術文化財団／(財)三菱UFJ信託地域文化財団
後援：NHK福岡放送局／(財)福岡市文化芸術振興財団

観覧料

一般・・・1,100円(900円) ※()内は前売料金および20名以上の団体、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、シルバー手帳提示者の料金
高大生・・・600円(400円)
中学生以下無料

開催日数 44日

観覧者数 6,110人

印刷物

ポスター：B2、B3
チラシ：A3二つ折り
図録：A4変形・326頁+89頁(英文、出品リスト、文献、年譜)・グラムブックス(株)出版、発行

関連記事

p. 20を参照。



▲図録

▶関連セミナー

「九州派:時代を駆け抜けた土着の前衛」

日 時:平成23年7月30日(土) 午後1時～3時

講 師:山口洋三(福岡市美術館学芸員)

会 場:教養講座室

聴講者数:32人

※終了後に展覧会場でギャラリートークを行った。

「オブジェからハプニングへ」

日 時:平成23年8月20日(土) 午後2時～3時45分

講 師:黒ダライ児氏(戦後日本前衛美術研究者)

会 場:教養講座室

聴講者数:80人

▶番組上映会

菊畑茂久馬氏の仕事を紹介するテレビ番組を上映した。

A 絵描きと戦争(1981年/RKB毎日放送/菊畑茂久馬番組構成・出演/90分)

B 200号の軌跡～青に挑む画家～(1990年/NHK福岡放送局/菊畑茂久馬出演/30分)

C チビとおっかあの福岡大空襲(1997年/RKB毎日放送/菊畑茂久馬出演/45分)

D 画家 菊畑茂久馬 春風のシンフォニー(2011年/RKB毎日放送/菊畑茂久馬出演/45分)

上映日程(時間はいずれも午後2時より)

日程	7/10(日)	7/16(土)	8/6(土)	8/7(日)	8/27(土)	8/28(日)
プログラム	A+菊畑氏トーク	B,C,D	A,B	B,C,D	A+菊畑氏トーク	C,D+菊畑氏トーク
入場者数	22人	25人	20人	18人	90人	56人

長崎会場

会 場:長崎県美術館

会 期:平成23年7月16日(土)～8月31日(水)

関連事業

▶アーティスト・トーク&ウェルカムコンサート

日 時:平成23年7月16日(土) 午前10時～11時30分

講 師:菊畑茂久馬氏(美術家)

演 奏:OMURA室内合奏団より

▶ゲスト・トーク「九州派:時代を駆け抜けた土着の前衛」

日 時:平成23年7月24日(日) 午後2時より

講 師:山口洋三(福岡市美術館学芸員)

▶学芸員によるギャラリートーク

日 時:平成23年7月17日(日)、31日(日)、8月14日(日)

いずれも午後2時～3時

▶コンサート

日 時:平成23年7月17日(日) 午後3時～4時

演 奏:OMURA室内合奏団より

▶ワークショップ「モクさんと海をつくろう!」

日 時:7月26日(火)、27日(水)
午前10時～午後3時(2日連続)

講 師:菊畑茂久馬氏(美術家)

対 象:小・中学生

定 員:20人

▶番組上映会

上映日程(時間はいずれも午後2時より)

日程	7/17(日)	8/6(土)	8/7(日)	8/27(土)	8/28(日)
プログラム	D(11時～)	A+菊畑氏トーク	B,D+菊畑氏トーク	A	B,C,D

日中国交正常化40周年記念

地上の天宮 北京・故宮博物院展

会期：平成23年10月18日(火)―11月23日(水・祝)

会場：特別展示室A



▲ポスター-B2



▲会場風景

展示活動

特別企画展

内容

明時代以降、24人の皇帝が居住した紫禁城(故宮)に所蔵されている明・清両王朝ゆかりの絵画・工芸・服飾・宝飾などの名品209件を通し、中国宮廷文化の精髓を紹介。皇妃や宮女など故宮に生きた女性たちの知られざる波瀾万丈の生涯とそのまなざしをもう一つのメインテーマとして、女性たちの鮮烈な生の輝きに照らされて浮かび上がる「地上の天宮・紫禁城」の魅力を紹介した。

出品点数 209件

関連事業

▶ 胡弓コンサート

日時：平成23年11月5日(土)
午後1時～1時30分、午後3時～3時30分の2回
演奏：楊藝(ヤン・イー)氏(胡弓)
稲富美由紀氏(キーボード)
会場：講堂
聴講者数：1回目231人／2回目240人

主催等

主催：福岡市美術館／西日本新聞社／TVQ九州放送／テレビ西日本
後援：外務省／文化庁／中国文化部／中国大使館／中国駐福岡総領事館／福岡県／福岡県教育委員会／(財)福岡市文化芸術振興財団／西日本リビング新聞社／cross fm／FM FUKUOKA／LOVE FM／西日本鉄道／九州旅客鉄道／福岡商工会議所／一般社団法人日本自動車連盟福岡支部／(社)福岡市タクシー協会／日本旅行業協会九州支部／西日本文化サークル連合／西日本新聞TNC文化サークル

特別協力：北京・故宮博物院

協力：NHKエデュケーション／ヤマトロジスティクス

企画協力：黄山美術社

企画：東京富士美術館

観覧料

一般・・・1,100円(900円)
高大生・・・800円(600円)
小中生・・・500円(300円)

※()内は前売り、20名以上の団体およびシルバー手帳、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳提示者の料金

開催日数 32日

観覧者数 136,497人

印刷物

ポスター：B1、B2、B3
チラシ：A4
図録：B5変形・291頁

関連記事

p. 21 を参照。



▲図録

レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想

会期：平成24年1月5日(木)―3月4日(日)

会場：特別展示室A



▲ポスター-B2



▲会場風景

内容

《モナ・リザ》や《最後の晩餐》などの名画を残したレオナルド・ダ・ヴィンチ(1452-1519)。現存する絵画は僅か十数点と限られるが、その「美」の世界は彼の生きたルネサンス期の芸術家のもとより、現代にいたるまで多くの芸術家たちに多大な影響を及ぼしてきた。本展では、日本初公開となるレオナルドの素描をはじめ、弟子との共作、レオナルド派や同時代の画家の絵画など世界各地から集めた作品・資料によって、レオナルドの創造した「美」とその系譜を辿った。

出品点数 74点(前期73点、後期71点)

関連事業

▶講演会

「レオナルド・ダ・ヴィンチの〈謎〉が遺したもの」

日時：平成24年1月14日(土) 午後2時～3時30分

講師：木島俊介氏(本展日本側監修、Bunkamura ザ・ミュージアム プロデューサー)

会場：講堂

聴講者数：240人

「モナ・リザはなぜ傑作か」

日時：平成24年1月29日(日) 午後2時～3時30分

講師：浦上雅司氏(福岡大学教授)

会場：講堂

聴講者数：240人

▶コンサート

「ダ・ヴィンチが生きた時代の音楽」

日時：平成23年2月18日(土) 午後2時～3時30分

出演：古楽アンサンブル「ハルモニ－・セレスト」

会場：講堂

聴講者数：240人

主催等

主催：福岡市美術館／毎日新聞社／RKB毎日放送
 後援：福岡県／福岡県教育委員会／福岡市／福岡市教育委員会／(財)福岡市文化芸術振興財団／外務省／イタリア文化財・文化活動省／イタリア大使館／アメリカ合衆国大使館／九州旅客鉄道株式会社／西日本鉄道株式会社／スポーツニッポン新聞社

福岡展特別協賛：大川関家具

福岡展協賛：味の明太子ふくや

協賛：鈴与グループ／損保ジャパン／大日本印刷／宝島社
 福岡展協力：AVILO

協力：アリタリアーイタリア航空／東急ホテルズ／日本航空

観覧料

一般・・・1,100円(900円)

高大生・・・800円(600円)

小中生・・・500円(300円)

※()内は前売り、20名以上の団体およびシルバー手帳、身体障害者手帳、精神障害者保険福祉手帳、療育手帳提示者の料金

開催日数 52日

観覧者数 127,192人

印刷物

ポスター：B1、B2、B3

チラシ：A4 2種

図録：A4変形・181頁



▲図録

関連記事

p. 22を参照。